

専門分野Ⅰ 基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	基礎看護方法Ⅲ 1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	増田恵美子	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>看護は、対象となる人のニーズに応じたものである。対象にとって必要な援助を見きわめ、提供するための手段・方法論の1つである「看護過程」を学ぶ。看護過程を構成する要素とそのプロセス、看護過程を用いることの意義を理解する。基礎看護方法Ⅰで学んだ、クリティカルシンキング、倫理的判断、リフレクションについての学びを基盤に、事例をもとに科学的根拠に基づいた看護を実践するための問題解決思考を身につける。また、看護記録の目的と意義を理解し、看護における観察・記録・報告の必要性を学ぶ。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1.看護過程とは 1)看護過程の基盤となる考え方 2)クリティカルシンキング 3)看護過程の基盤となる考え方 4)ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程	講義	
2回目	1.アセスメント 1)情報の意味を考える (1)相手への関心と知識(2)原因を探究する力 (3)基準値との比較と知識の活用(4)中範囲理論の活用	講義	
3回目	1.全体像の把握 1)関連図 2.看護診断	講義	
4回目	1.ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程と記録用紙の関係について	講義	
5回目	1.事例展開	演習	
6回目	1.事例展開	グループワーク	
7回目	1.事例展開	演習	
8回目	1.看護計画 1)期待される成果 2)患者の個別性 3)看護目標記述の原則 4)看護目標の種類	講義	
9回目	1.看護過程の実施 2.看護過程の評価 3.看護記録 4.SOAP	講義	
10回目	1.計画に基づく援助	グループワーク	
11回目	1.援助の実施 2.SOAP 3.評価	演習	
12回目	1.看護診断 1)NANDA-I	講義	
13回目	1.発表会	発表会	
14回目	1.まとめ	講義	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 50% 課題提出 50% (事例展開)		
受講生に対するメッセージ	「看護の目的」「看護の機能」「看護技術とは」「クリティカルシンキング」「倫理的判断」「リフレクション」の復習をしておいてください。事例展開するためには、「形態機能学」「病態治療論」「フィジカルアセスメント」の知識がベースに必要です。何度も復習・予習をして臨みましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護学技術Ⅰ 医学書院 ヘンダーソンの看護感に基づく看護過程 日総研		